

ありのまま



さく・やまさき
え・もえの。

はじめに

25歳の時に病気の発症。

体に異変を感じ病院に行くと判明。

生活面では、体の事ばかり気にしていた。

発症後、仕事面ではうまくいかない事が続き調べると高次脳機能障害だと判明。

うまくいかない事の共有や生き辛さを当事者だから伝えられることがあると
思い絵本にしようと思った。

しんたいめん
身体面

てさき しび のこ ひも むす
手先に痺れが残り、紐を結ぶことやボタンをとめることが
やりにくくなった。

てさき ふじゆう のこ せんたくもの かわ かわ
また手先に不自由さが残り、洗濯物が乾いているのか乾いていないのか
わからないことがある。

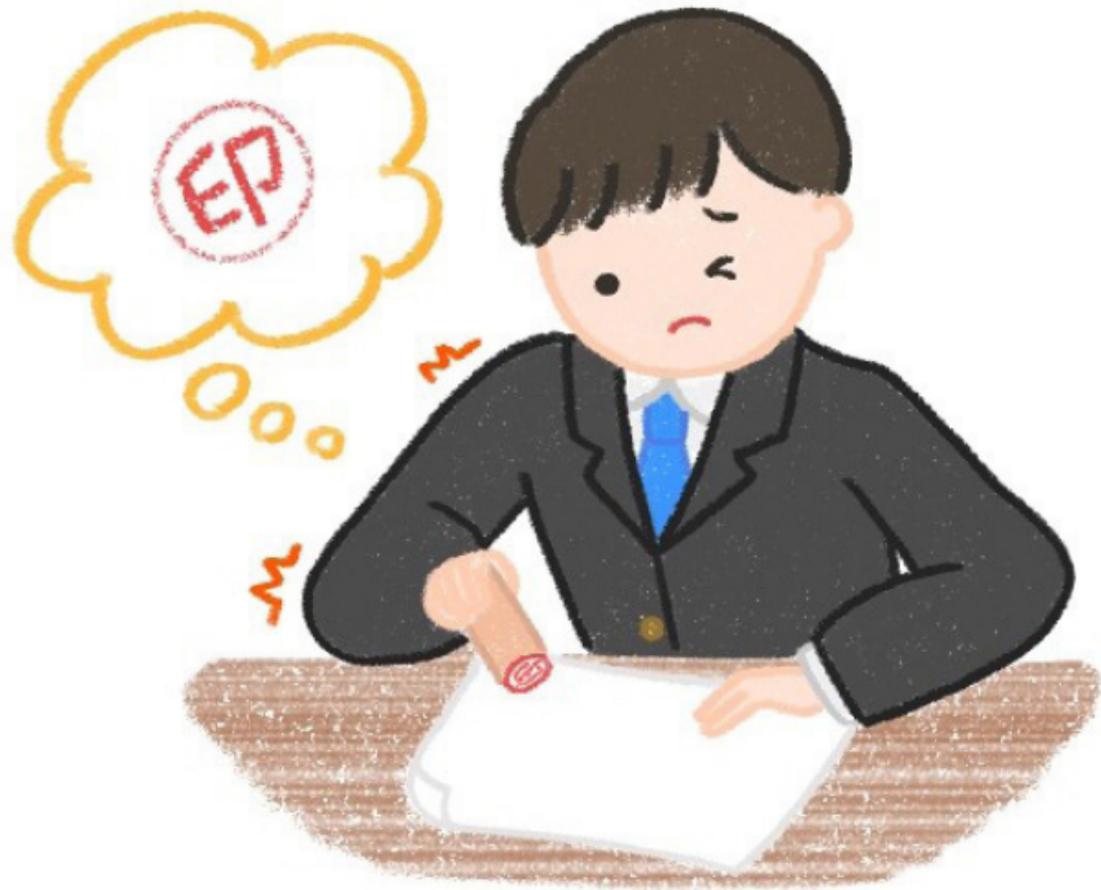


しんたいめん
身体面

また他にも難^{むずか}しく感^{かん}じるようになった事^{こと}は

印鑑^{いんかん}が押^おしにくくなった。1度^どできれいに押^おす事^{こと}が難^{むずか}しくなった。

やり直^{なお}したり人^{たの}に頼^おんで押^おしてもらうことがある。



せいしんめん
精神面

しごとちゆう まわ
仕事中に周りがザワザワしていると、聴覚が過敏になりストレスになることがある。

とく ひと こえ あしおと しよくじ
特に人の声や足音、食事をしている時の咀嚼音など。

たいさく ば はな きゅうけい
対策はその場から離れたり、休憩をとるなどしている。

ご しごと しつ お
その後の仕事の質を落とさないために。





ためしよみ

は

ここまでです